

総合人文科学研究センター・研究部門 活動報告書

研究部門名	拡大するムスリム社会との共生
代表者氏名	五十嵐大介
<1> 2020 年度活動報告（出版・研究会・講演会等） 2020 年度はコロナの拡大により、当初予定していた研究計画のほとんどが残念ながら中止に追い込まれた。 ・ 2021 年 2 月 9 日（火曜日）に、本研究部門に加わっている三名の招聘研究員を発表者として、研究会「中世アラブ・イスラーム史研究の最前線」を Zoom を用いてオンラインで開催した。発表者と発表タイトルは以下の通り： 橋爪烈「アラビア語医薬文献・本草文献研究の可能性について」 中村妙子「中世シリア諸都市と十字軍」 吉村武典「マムルーク朝期エジプトのコプト農事暦と徴税：アブー・バカーウ・ムハンマド・イブン・ジーアーン著『年と月を繰り越すことについての満月の上昇』写本調査報告」 研究会には外部の研究者や本学の大学院生を中心に 15 名が参加し、活発な議論が行われた。 ・ 『WASEDA RILAS Journal』 Vol. 8 に、本研究部門の活動報告として代表者が「第 6 回国際マムルーク会議」開催報告」を執筆し掲載された。	